

1. 計画策定の趣旨

近年世界では、AI※やIoT※などの技術向上によりデジタルサービスが発展し、5G※の登場などによりネットワークの高速化、大容量化が進みました。また、スマートフォンなどのデジタルツールが人々の生活に深く浸透し、クラウド※によるサービスも広く一般に普及するなど、世界的なデジタル化の流れは今後さらに活発化していくと予想されます。

その一方で、マルウェア※やフィッシング詐欺※、標的型攻撃などによる個人情報流出など、サイバー攻撃は高度化、複雑化しており、いかに情報セキュリティ対策により未知の脅威から情報資産を守るかが深刻な課題となっています。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンライン手続きへの移行の遅れや、テレワーク※下における書面、押印、対面の必要性の見直しなど、行政としてのデジタル化の遅れが社会全体として広く課題として認知されることとなりました。上尾市においても、オンライン手続きや事務のデジタル化などについて十分に進んでいる状況とはいえず、早急な取組が必要な状況です。

このような状況のなか、国はデジタル庁を創設し「行政のデジタル化」を一つの柱としてシステム標準化やマイナンバーカードの普及により、あらゆる手続きがオンラインでできる社会を目指すこととしました。

上尾市として、急速な社会情勢の変化に対応し、ICT分野における最新の動向を的確に捉えた取組を計画的に推進し、市民サービスの向上や行政事務のデジタル化を進めていくため、上尾市における今後のICT化の方向性を示す「上尾市ICT化推進計画」を策定します。

